

国土交通政策研究所 第168回政策課題勉強会 概要

日時：平成26年10月29日（水）12時30分～14時00分

講師：特定非営利活動法人 こやだいら 理事長 阿部 義則 氏

テーマ：地域住民が地域を支える過疎地有償運送等の取り組み

(1) 木屋平地域について

- 平成17年3月に木屋平村が町村合併して美馬市（徳島県）となった。
- 美馬市の中心から50分程度約30kmの位置で、標高1500mの山間部。
- 昭和30年は6507人いたが、現在の人口751名、高齢化率55.9%（美馬市の高齢化率は31%）。
- 地域課題は人口の減少と高齢化による交通弱者の増加。現在は150人の交通弱者がいる。

(2) NPO法人について

- 旧木屋平村は高齢者の診療所への送迎をタクシー会社に業務委託していたが、対象が木屋平地域のみであったことや高額な事業費を理由に、町村合併後、廃止となった。
- 地域の住民で意見交換や検討委員会を行い何が必要か整理して、住民が平成19年12月にNPO法人を立ち上げて取り組むこととした。
- NPO法人こやだいらの機構は、理事が10名である。ボランティアに協力的な年金受給者を中心に募った。
- 予約受付等の事務手続きは理事が行っており、事務所は月・水・金のみ対応するなど、業務の効率化を図っている。
- 理事の報酬については当面无償であるが、法人税がかかる程度黒字になったら手当てを検討。
- NPO法人の各事業＜詳細については次項（3）を参照＞については班を組織し、サービスを提供できる方が各々登録している。複数の班へ重複して登録している方もいる。
- 会員の年齢層は30～90代までおり、生活支援事業は女性も多い。また殆どの方が他の仕事との兼業である。
- 地域住民はNPO法人の活動に依存している。

(3) NPOの各事業について

○事業は以下の7つである。

- ①過疎地域有償運送事業
- ②高齢者生活支援事業
- ③農林作業支援事業
- ④環境整備事業
- ⑤防災関係事業
- ⑥自然保護活動事業
- ⑦地域づくり事業

事業は会員制で現在339名（設立時220名）、年会費は一人1000円となっている。①②③の事業については会員からの収入があり、具体的には代金の15%がNPO法人の収入、85%は働いた方の収入となる仕組みである。現在の年間収入は450万円で60万円程の黒字。④⑤⑥⑦は①②③からお金を回して運営している。

○県、市からの補助金はないし、求めようとも思っていない。

①過疎地域有償運送事業

- 班に登録した運転手の自家用車のみを使用。現在の運転手は45人で、自身事故歴がない方を条件に選定している。現在、運転手の最高年齢は70歳代前半。
- 料金設定にあたっては、高齢者の意見やタクシーの料金も考慮し、1km130円に設定した。
- ガソリン代は運転手が収入内で補填している。
- 運転手による荷物の運びや手助けも行っているが、特段追加料金などはない。また、利用者の状況によっては運転手だけではなく補助をつけることもある。
- 移動サービス範囲は発着が地域内であれば地域外に移動する事も可能。但し、利用者は地域内の方に限られる。
- できるだけ効率的に利用いただくため、近所の方などは1台に同乗し、料金を同乗者で割り勘する仕組みを作っている。
- 既存の市営の路線バスは1日3本運行しているが、市営バスへの乗り継ぎの需要もある。
- この事業により、医療機関での定期的な検診が可能になり、病気の早期発見により入院を必要とせず薬代だけで済むことも増えた。実際救急車の出動回数が減り、医療費の削減にもつながっていると感じている。
- 事業を実施する中で最大の懸念事項である事故等による責任問題については、一人ではなく地域全体で責任を取る体制が必要。そのため保険などの措置などが講じられれば有り難い。

②高齢者生活支援事業

- 料金は1時間900円で設定している。
- 訪問・安否確認・生活相談などが主で、振り込め詐欺などの情報提供等も行っている。
- 社会福祉協議会と協調しながら事業を行っており、社会福祉協議会からの受託事業もあれば、無料で事業を手伝う場合もある。
- 依頼主の移動を伴わない買い物だけ等の依頼は、高齢者生活支援事業でカバーしている。
- 65歳以上の方を対象に「一人暮らし高齢者の安全安心についての意識調査」を行ったところ、「通常時訪問してほしい」と回答した方は30%と、意外と低い結果であった。一方、「災害時や非常時は訪問や電話をしてほしい」と回答した方は90%という高い結果であった。
- 例えば、認知症の方は2人ペアで訪問を行うなど、高齢者のニーズに合わせて派遣する人数や性別を決めることが必要である。

③農林作業支援事業

- 料金は1時間900円で設定している。尚、作業を行う場所への往復時間に値する料金はかからない。
- 農林作業だけではなくお墓の掃除や家の換気にも対応している。
- 地域住民以外でも会員になれば、地域内の山や畑に関する作業は利用できる。

④環境整備事業

- 国、県、市道、河川の清掃活動や道路の支障木の撤去作業を実施。
- 不法投棄（地域外から）の調査や監視活動、看板の設置等を実施。

⑤防災関係事業

- 自主防災会との連携による防災訓練や高齢者の避難体制づくりを実施。
- 心臓マッサージは子供から大人まで全員が対応できるように訓練を行っている。
- 男性が少ない時間帯に女性だけでも放水などの対応ができるように日頃から訓練を行っている。

⑥自然保護活動事業

- 希少な絶滅危惧種の保護や増殖させる活動を実施。

⑦地域づくり事業

○伝統文化や伝統芸能を生かした地域づくりを実施。

(4) 地域の課題解決の方法

○地域の長がすべて集まって課題を整理し、分担を決めて3ヶ月以内を目処に解決を図っている。

○地域のレベルを上げるために会議を繰り返し行うことが大事だと考えている。

(5) その他

○取り組みの効果として「地域が明るくなった」「地域住民が元気になった」等の声が聞こえてくる。いずれも継続が大切である。

○課題としては今後は人材育成が重要。また、居住は難しいが、昼間の活動人口を増やしていく必要があると考えている。

○7～8年後は300人ぐらいになるという想定のもと、具体的には現在でも地域外の方々にイベント等へのお手伝いをお願いし、逆に地域の食事を提供するなど、人口交流を図る取り組みを行っている。

○「支援は多数で薄く、受ける方は厚く」と考えている。一人の支援に対して人数が多いと当番が回ってくる回数が少なくなるので負担も減る。また他の組織と連携を取ることも重要である。